

まちの話題

話題・出来事など皆さんからの
情報をお待ちしています。
町民課住民活動係 Tel.2・1213



2/15 雪まつりで異世代交流 ▼かまくら雪まつり

第10回かまくら雪まつりがホワイトドーム駐車場で開催されました。当日は、幼児から老人クラブの会員まで約350名が集まり、雪像コンテストやゲーム大会を通じた異世代交流が行われました。会場では、雪山をタイヤチューブで滑る子ども達や、老人クラブや身障分会の出店テントで、熱々のうどんや焼き鳥を食べる来場者の姿で大盛況でした。また、町内で手作り食品や手芸、陶芸に取り組む方々による、サロマ「再発見」マーケットが福祉センターで同時開催され、来場者に地産地消を呼びかけていました。

2/8 激しく楽しく、好ゲームを展開!!

▼サロマフットサル交流大会



今年で11回目を迎えた「サロマフットサル交流大会」が町体育館で行われ、同時開催のキッズフェスティバルを含め、幼児から50歳を超える選手まで180名を超える選手がボールを追いかけました。午前中は、幼児のキッズフェスティバルと小学生の部が行われ、息を切らしながら一生懸命ボールを追いかける子ども達の姿に、会場からも大きな声援が送られていました。午後からは、中学生の部と一般の部が行われ、迫力あるボールの奪い合いや、華麗なシュートに会場から拍手が沸いたり、昔の一流選手やこの日のために練習してきた選手が足を絡ませながらボールを追いかける姿に笑いが起きたりと、珍プレー好プレー続出で、大いに盛り上がった1日となりました。

2/21 更なる発展を!! ▼商工会青年部創立40周年記念式典

佐呂間町商工会青年部の創立40周年を祝う記念式典が、佐呂間コミュニティセンターで多くの来賓を招き行われました。式典では、高橋光貴青年部長が、これまでの運営・事業推進に尽力いただいた先輩諸氏への感謝の気持ちと、今後とも商工業振興からまちづくり広範にわたる活力ある地域づくり積極的に参加し一層の結束を図りますと決意を述べられました。また、来賓を代表し、川根町長、関東商工会長から、商工業の発展はもとより地域の振興発展に更なる活躍を期待しますと激励を受けられました。



小さい頃からのむし歯予防で “歯っぴい★”になろう!!



お問い合わせ
保健福祉課 保健推進係 Tel 2・1212

1つは、子どもの成長・発達に影響するからです。小さい頃のむし歯予防は、永久歯、いわゆる大人の歯が正しい位置に生えてくるように歯並びにも関係しています。歯並びが悪いと栄養面やあごの発達、言葉の発音にも影響します。

もう1つは、むし歯になる環境を作るのに生活習慣が深く関係

しているからです。小さい頃の生活習慣を思い返してみると大人になっても変わらないのではないのでしょうか。例えば、夜ごはんを食べた後にジュースやお菓子をだらだらと食べるなど、常に口の中に食べ物が入っている状況は日常生活の中でありませんか？これが、むし歯の増える環境なのです。そして、違う面から見るとこのような生活習慣からメタボリックシンドロームといった将来の生活習慣病にも繋がるため、小さい頃からむし歯を予防することは大切なこ

となのです。

佐呂間町では、子どもにおやつを与えている人として、お母さんの次に、おじいちゃん・おばあちゃん世代が多いというアンケート結果が出ています。今までのむし歯予防はお父さん・お母さん世代での頑張りが大きかったのですが、これからはおじいちゃん・おばあちゃんたちの応援も必要になってくると感じています。また、地域の協力も大切です。むし歯予防で皆さんが出来ることは何か考えてみませんか？

● むし歯予防劇「2匹のこぶた」実演

佐呂間町では、むし歯予防の取り組みの1つとして、毎年1月頃に佐呂間保育所で「むし歯予防劇」を行っています。今年は「3匹のこぶた」をリメイクし、「2匹のこぶた」を実演しました。好き嫌いをしたり、歯磨きをしないと、ばい菌オオカミに狙われてしまう！という内容です。

保育所では「舌を磨く」「歯の裏まで丁寧に磨く」など、子どもたちに歯磨きの大切さが伝わり、早速、実行されるという変化が見られました。

衝撃

3歳児のむし歯が全道で2番目に多かった佐呂間町：：

皆さんは、佐呂間町の3歳児のむし歯の数が多かったことをご存知でしたか？なんと平成14年度では全道で2番目に多かったのです。

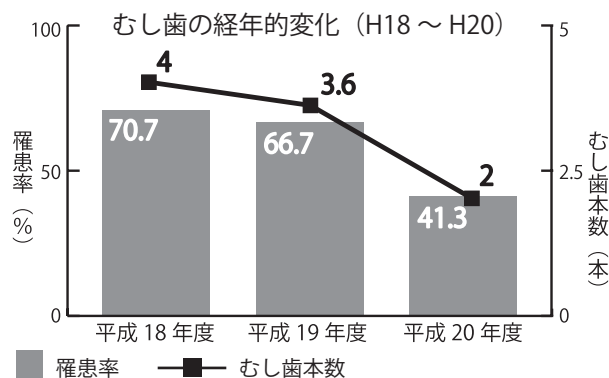
その年度の3歳児のむし歯の数は過去最高で1人あたり5.3本でした。この当時の全道平均は1.88本とかなり差が付いていることが分かります。町の事業として、むし歯予防に力を入れている理由はここにあったのです。

変化

むし歯になっていく子どもたちの変化

小学校に上がる前の健診のデータをまとめてみました。家庭でのむし歯予防に対する意識や取り組みによって、むし歯になっている子どもの率も、1人当たりのむし歯の数も減少傾向にあります。

むし歯予防の成果は着々と出ています。やはり、むし歯予防の源はご家庭にあります。これからもご家庭での取り組みに期待が膨らみます。



※罹患率とは、平成18年度を例にすると10人中7人がむし歯になっていることを意味します。